



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0021
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第278号

聖母の被昇天を祝う

8月15日は「聖母の被昇天」の祝日です。30年前、ヨーロッパアルプスを登りに行ったとき、帰りの時期が8月中旬になり、ノートルダム大聖堂の聖母の被昇天ミサに預かることができました。あの大聖堂に入りきれないほどの信徒が来ていました。

ところで、私たちの信仰の中心にある福音書にはマリア様のことはあまり書いてありません。福音書はイエス様の伝記ではありませんので、マリア様のことが詳しく書いてないのでしょう。

パウロの書簡にあるエフェソスはマリア様のことがたくさん出てくる都市です。

古代都市遺跡の町並みの外に円形劇場とか海岸通りがありますが、円形劇場の横にマリアの教会跡があります。ここでは4世紀にエフェソ公会議がありました。

公会議の議題は、マリア様は「聖母マリア」か「イエスの母」ということだったそうです。

この議論の結果、聖母であることを認めない人達は分かれていきました。その人達は今も中央アジアで信仰を守っていることが、シルクロードのドキュメント番組でありました。

その他にも「聖母マリアの家」というところがあります。入り口から緩やかな登り坂を上っていくと道の横にいろいろな言葉で「聖母マリアの祈り」が書いてある看板が立っ

ます。英語やイタリア語やフランス語やトルコ語と並んで韓国語の看板もありますが、残念ながら日本語はありません。

登り坂の奥には小さな聖堂があります。そこがマリア様の最期の地だというのが伝承ですが、真偽の程は分らないというのが本当のことだそうです。

イエス様が十字架上で亡くなられてからマリア様は弟子のヨハネに連れられて各地を転々としたという伝承があります。エフェソ郊外のアルテミス神殿跡の近くにヨハネが亡くなった場所があります。

そこには、かつてヨハネの大聖堂が立っていましたので、今も聖堂跡が残っています。この聖堂と「聖母マリアの家」とは近いので、そうだったのかも思いました。

イエス様の母であるマリア様が天へ昇られたことは当然のことで、この喜ばしい祝日を私たちは心から祝いたいと思います。

広報 岩本

| | |
|----------------|------|
| 公文書シリーズ | 2面 |
| 黙想の家で祈り、語りあう集い | 3面 |
| 委員会報告 | 4面 |
| 典礼委員会議事録 | 5面 |
| 教会学校のページ | 6・7面 |
| おしらせ・小グループ紹介 | 8面 |

公文書シリーズ 第9回 信徒使徒職に関する教令(2)

上記の教令について、前回から紹介を始めましたが、今回は特に、伝えやすい部分、伝えやすい切り口を書きました。多少「復習」しますが、キリストの体、すなわち教会における信徒の働きの重要性（キリストの司祭職、預言職、王職であること）を概観した上で、信徒使徒職の種々の分野、特に第4章で述べられた”組織的な使徒職の諸形態”があり、使徒職を行う「会」として、①教会の一般的な信徒的目的を追求する会、②福音の宣教と聖化を目指す会、③キリスト教の精神を世に浸透させる会、④慈善事業を通してキリストのあかしをたてることを目的とする会、などの可能性が述べられている；これらを記述しました。

今回は、前回の様に、当教令の中で具体的な書き方を見つけて紹介するのではなく、より掘り下げられた言い方の部分を探り、それを執筆に反映させようと思います。

信徒使徒職に関する教令の第1章のタイトルは先にも書きましたが、信徒使徒職への信徒の「召し出し」です。信徒の存在がそのまま信徒使徒職という訳ではなく、“生きた体の組織”において、どの部分もただ単に受動的にあるのではなく、キリストの体である教会においても、全体は「おのおのの部分に応じる働きによって成長するものであり、また、体の各部分と相互の関係は密接（※エフェソ4・16）」であり、構成員はその能力に応じて、教会の発展に寄与すべきである”とあります。

教会構成員が教会に能動的に関わる；特に、各々の力を積極的に出し、各自の得意な部分を伸ばしつつ、相互に補い合うべきこと。このことが、キリストの体である教会の使命への参加であり、信徒使徒職としての働き、と書かれています。

次の箇所（第2章の「到達すべき目標」の冒頭）には、大切な観点が書かれています。

“キリストのあがないのわざは、本来、人の救いを目指すものであるが、それはこの世の秩序全体の刷新をも含んでいる。したがって、教会の使命は①人々にキリストの福音を告げるだけでなく、②この世の秩序を福音の精神で満たし完成することである”。それゆえ、教会のこの使命を墜行する信徒は、教会においても世間においても、①霊的な秩序においても、②現世的な秩序においても、その使徒職を果たすのである。”と書かれています。

すなわち、信徒は、一市民として、世界の中の一員として、①霊的な観点でも人々について祈ると共に、②世界の具体的なあり方—政治と生活、戦争と平和、繁栄と貧困のあり様—についても、直視し、各々の分に応じて行動すべきことが述べられています。

最後に、上記の文脈に通じるのですが、僅かな行数でのみ書かれている（第1章の最後）が大切な記述として、次の箇所があります。「信徒は、職業上の訓練、家庭ならびに社会の一員としての責任感、さらに社会生活における諸徳（正義感、親切、勇気等）を重視しなければいけない。このような霊的、信徒的生活の完全な模範は、**使徒の女王、聖なるマリア**である。家庭の世話と仕事に追われながらも、子と親しく結ばれ、救いの業に協力したのである。」

黙想の家で祈り、語りあう集い

第1回「黙想の家で祈り、語りあう集い」4月18日(日)のテーマは、「ホスピタリティ(旅人のもてなし)」でした。家庭、学校、教会は、人生を旅する人をもてなす場としての役割がある。親子、教師と生徒、教会は、実質的にあるいは霊的に、食べ物を与え、休ませ、手当をし、独り立ちできるまでの宿を提供する。来住神父様の講話の後、一休みして、自己紹介と意見交換をしました。

第2回6月27日(日)は、土砂降りの雨でした。参加者は、前回と同じ21名で、顔ぶれに入れ替わりはあったものの、信者16名、未信者5名でした。集いのテーマは「社会の中でのわたしの生き方」でした。

講話は30分間ほどで、来住神父様は「人から助けを求められたとき」と場面を絞って話されました。10分間の振り返りタイムを設け、お茶休憩のあと、グループに分かれて、体験や意見を出し合うことにしました。

『無縁社会』という言葉がある。「人に助けを求めることはできない(すべきではない)」しかし、神が期待しておられる世界は、ある時には助けられ、ある時には助けながら、共に生きていく世界である(共生)。助けを求めよう。

人を助ける、人に助けを求めることについて考える。決まった場所に出かけて行って助ける(炊き出しなど)ことより、「懐に飛び込まれた」場合の方が難しい。自分の体力、気力、時間、技能、知識の限界もあり、場合によっては、周囲の人を巻き込むこともある。ひとりで抱え込まず、経験のある人に相談をするなど、日頃から考えておく必要がある。たとえ力不足で助けられなくても、それで相手や自分を責めない。相手も自分も神のいつくしみの中にある。継続的に「祈る」ことは出来る。

講話に続く質問は「今まで、人(家族を含む)に助けをもとめられたことがあるか？」でした。体験の分かち合いは、2グループが別室で40分間、身近な人とのかわりなどについて意見を交わしました。

入退院を繰り返して苦しんでいる友人を見舞ったり、電話やメールを送っている。夫と死別し意気消沈していた時、周囲の方からお出かけの誘いや食べ物のお裾分けをもらって助けられ元気になった。精神的に落ち込んでいたときに、友人が玄関に花束を置いてくれた。人に迷惑をかけないという生き方は、困ったときに人を孤立させてしまうのではないか。

助けを求める人への「気づき」、そばにいて関わろうとする配慮が今大切なことが実感されました。40分間が短く感じられる、実りある語り合いでした。最後は、聖堂で「主よわたしが悩むとき」を歌い、詩編を使って祈りました。次回は10月の日曜日午後を予定しています。

典礼委員 矢田公美

委員会等報告

2010年7月分

7月度小教区委員会

7月4日

1、前委員会の議事確認

*教会維持費 新たな仕様内容の検討
作成中の用紙が回覧された。下記参照。

| 月・定献金 | 後援会 神学院 | 駐車場 献金 | 合計 |
|--------|------------|-----------|----|
| 3500円等 | 300円等 | 500円等 | |

*営繕の件(水道を2Fに引くことは業者に任せることに)

*小教区委員会、次は9/5(日)開催予定

2、先月の行事報告

- ・6/6(日)小教区委員会開催
- ・6/19(土)野菜のバザー準備
- ・6/20(日)新鮮 野菜バザー開催
- ・教会維持費納入願い、郵送 108通
- ・6/27(日)納骨堂利用者の集い
- ・同上(日)午後2時より典礼委員会の主催による黙想の家で祈り語り合う集会、参加人数21名(うち末信者5名)

3、議題

*平和旬間の集い 8/8(日)小倉教会
7/25(日)及び8/1(日)に参加募集をする。

既にミサにて平和の祈願を始めた。

ロザリオも、霊的花束とする。ロザリオへの参加者数等を数えて記する。

7/25(日)小倉にて実行委員会、開催
水巻教会よりバス(29名乗り)に乗り合い。
出発12時。バス乗車の申し込みは、7月18日、25日、8月1日。弁当用意(子どもの分のみ)、大人は自分で食事。

平和の集いの後、引き続き「地球のステージ」午後6時より、参加費1500円。

*教会学校等 夏の予定

1)7/24(土)教会学校(小学生)

今村教会巡礼、訪問

2)8/15(日)~8/16(月)中・高生及び青年
天草巡礼の旅

*聖堂及び信徒会館 周辺の大掃除

ワックスがけと掃除。俵さん送風機用意。

8/29(日)予定

*敬老会 9/12(日)

敬老対象者は、今年から75歳以上と定義しなおす。(敬老の日である9月20日に75歳か、それ以上になる方)

招待状 8/8(日)までに郵送。返事は8/29(日)まで。

弁当¥1,500/1人 注文を掛ける

4、各委員会から

*資源ごみの分別廃棄容器、試験的に1個購入。今後増やすかも。

*泥拭きマット 3個購入。

*信徒名簿の小教区委員の方への配布

5、その他

納骨堂利用者集会：6月に行われた。利用者規程について話し合った。今後、納骨堂利用者集会を4月に行うことにして、信徒総会前に重要事項を提案し、信徒総会で決定した方が合理的である、と提案された。

6、これからの主な活動予定

11/23(火)安心院巡礼旅行(トラピスト修道院、ワイナリー)

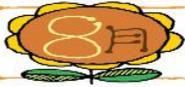
2010年度 第4回 典礼委員会議事録

開催日時：2010年7月14日(水) 19:30 場所：信徒会館

出席者：竹森神父、俵、三谷、山本、安永、矢田

《報告事項》

1. 第10回北九州平和の集い 8月8日(日) 13:00~16:00
第1部(午前)平和祈願ミサ・・・各教会で 第2部(午後)平和の集い・・・小倉教会
テーマ：いまわたしたちにできること、築こう平和を 足元から
- 2 主日ミサでの典礼委員
 - ・司会担当者はミサ前、9時15分までに教会に来るように努める《審議事項》
 - 1 平和の集い
 - <霊的花束>8月1日、8日を平和祈願ミサとし、作成する。
 - ・ミサ・聖体拝領・「平和のための祈り」・ロザリオ(一連9:10より)
…参加人数をカウンターで調べる。(山本さん)
 - ・個人的に唱えるロザリオは掲示板の表に記入してもらう。
 - ・霊的花束(色紙)作成：柴田香菜さんに依頼予定。平和の集いで子どもの参加者が奉納する。
 - <ローソク>
 - ・8月1日、8日の平和祈願ミサで灯す。 平和の集いで子どもの参加者が奉納する。
 - <平和を祈る短冊>
 - ・短冊に記されている願いを共同祈願とし、台紙(模造紙)に貼る。
平和の集いで子どもの参加者が奉納する。
 - <献金>
 - ・「世界各地の地震被災者」のために献金し、平和の集いで奉納する。
 - <共同祈願>
 - ・平和の集い会場で、各教会の子どもの参加者が共同祈願を唱える。
- 2 黙想の家で祈り、語りあう集い(4/18、6/27)について
 - ・第1、第2回の報告を「からしだね」に掲載する。
 - ・参加者は両日とも信徒16名、未信者5名。 指導司祭：来住英俊神父
 - ・費用は典礼委員会(10,000円)と教会会計(部屋代と一部入館料)より支出。
 - ・第3回を10月10日に予定しているが指導者については、今後交渉する。
- 3 8月、9月の聖歌予定表了承
- 4 その他
 - ・回心の秘跡を受けられる日時：日曜日 8:30~9:00 司祭館へ
 - ・クリスマス前夜祭導入部に青年の主張を取り入れる(三谷さん)。9月の委員会で検討する。



教会学校のページ

6月27日

1・2年生

- 「主の祈り」をして天のお父様に感謝の気持ちを持つように話す。
- 父の日にちなみ(20日)お父さんへの感謝の言葉を書く。

3・4年生

- 聖書を開く練習(ミサ中の三朗読箇所)
- 紙しばい(大切なおはなし) ○五つの祈り暗唱

7月11日

1・2年生

- ルカによる福音 10・25-37 みんなで読む。
- 「隣人」になるためにどうしたらよいか話し合う
- 自分が困ったときのことや、困っている人を見つけた時のことを話し合う
- どんな寄り添い方や助け方、慰め方をするかノートに書く

3・4・5・6年生

- ミサでの第1、第2朗読、福音書と実際に聖書から開いて福音部分を皆で音読した。
- 良きサマリア人のお話について古郡神学生が解説して下さい。



7月24日(土)教会学校(小学生)から今村教会へ巡礼訪問一日練成会に行きました。その時の子どもたちの感想文を掲載します。

そうまりえ(4年)

ロボットのパロちゃんがかっこ良かったです。パロちゃんはまつげがながかったのでわらってしまいました。やさしくなでたら目をとじたのですごくかわいいなとおもいました。今村きょうかいがすごくきれいでかっこよかったです。

あすみ(1年)

きょうはたのしかったです。せいざをみました。とてもきれいです。またいきたいです。

あやか

いろいろなことがわかりました。でもろぼとがおもしろかったです。いまむらきょうかいですごくおおきくてきれいで、みずまきとたかさがおおきかったです。すてきなきょうかいとおもいました。

のだひろし(4年)

じょうたつひこくんは、アンタレスはたいようの100こぶんといっていました。いろいろなせいざがありました。さいだんがすごかったです。

平田稜祐(3年)

いろいろなせいざをした。せいざがおもしろかった。ロボットをさわられてよかった。

豊岡香純(5年)

たくさん子どもたちとみさをしました。科学館にいってろぼとたいけんをしました。たのしかったです。またいきたいです。

坂本すす

今日はとてもおもしろかったです。星を見たりしました。また行きたいなと思いました。今日行った今村教会はとてもきれいでした。ゆるしのひせきもしました。おもしろかったです。

真柴百花(5年)

わたしが一番楽しかったのはロボットがいっぱいたったところです。理由はみたことがないロボットがいてしゃべっていたロボットがいたのでとても楽しかったです。

わたしはまだみたことがないロボットをいっぱいみたいなと思いました。

いけまつゆき

きょうかいにいっておいのりをしたりみんなとごはんをたべたりしたのでたのしかったです。ふくおかけん青しょうねんかがくかんでいろいろなことができてたのしかったです。

城たつひこ

あの教会を見てぜんぜんちがうとおもいました。ちなみにアンタレスは太陽百こぶんあるそうです。

前田あやか(5年)

感想・・・私は一番プラネタリウムがよかったです。理由は私は星が好きでいろんな星やせいざが知れていいと思いました。今まで知らなかったせいざが知れて理科の勉強にもややく立ったと思うからです。

私の心に一番のこっているのはいまむら教会です。なぜならいつもは水まきの教会でみさをしているけどいつもとちがう場所でしたからです。今日一日とてもいい体験になりました。

小倉大暉(3年)

ティラノサウルスが口がおおきくておもしろかった。

8月のおしらせ

★特別献金★

6月27日聖ペトロ使徒座特別献金
33,350円
ご協力、ありがとうございました。

人ひと

【ご帰天】安らかに！
◇7月16日
原田 一男さん (芦屋地区)

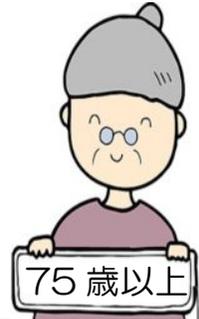
★中・高校生、青年の巡礼訪問★

日 時：8月15日(日)～16日(日)
場 所：天草
参加申し込みは8月8日(日)までです。

◇広報委員会より◇
今月は記事が多く、連載記事がのせられませんでした。

敬老会参加者の年齢変更について

7月小教区委員会において敬老会に参加される人の年齢を70歳以上から改め75歳以上と変更しました。厳密には「本年9月20日の敬老の日に75歳以上になる方」が対象となります。
楽しみにしていたがこれに外れてしまった方、ぜひ長生きされて数年後は参加してくださいね。



小グループ紹介シリーズ

詩編を歌う会（聖歌隊）

詩編を歌う会は現在、聖堂2Fで、ミサ時における聖歌を率先して歌っています。
場所については案が2転3転しましたが、ここで固めてもよいのではないかと、思っています。営繕等のご協力で2Fのいく点かの配置は改善されました。
この1～2年前から、若い方もみえる様になり、ありがたく思っています。もちろん、もっともっと多くの方が、この会に入って頂きたいと思っています。特に、上手に歌える必要はありません。
ただ、ミサの聖歌では、我々ももっと声を出すべきであるし、また、会衆の皆さんも意識して声を出して頂けたらと思います。祈りは歌に、歌は賛美に、をモットーと考えています。